

報道関係 各位

2014年9月30日

明治大学博物館特別展 「藩領と江戸藩邸～内藤家文書の描く 磐城平、延岡、江戸～」を開催 会期中には特別企画講座も開催

明治大学博物館(東京都千代田区)は、10月11日(土)～12月11日(木)に、特別展「藩領と江戸藩邸～内藤家文書の描く磐城平、延岡、江戸～」を開催します。入場料300円。

会期中の10月25日(土)、11月8日(土)、11月22日(土)には、生涯学習拠点「明治大学リバティアカデミー」が、明治大学博物館学芸員らによる特別展関連講座「藩領と江戸藩邸」を開催します。受講料4,000円。事前予約制。

本展示会では、磐城平、延岡、江戸という3カ所に存在した内藤藩の城や屋敷を定点として、それぞれの地における内藤藩の姿や江戸と国元における人・もの・情報のやりとりを描きます。また、各時代、各領地をつないだ内藤家文書のあり様や、廃藩置県後の内藤家文書の行方などにも迫ります。



磐城七浜捕鯨絵巻 浜の巻(いわき市蔵)

■明治大学博物館特別展「藩領と江戸藩邸～内藤家文書の描く磐城平、延岡、江戸～」

会場：明治大学博物館特別展示室

東京都千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン B1

開館時間：10時～17時(入室は16時半まで) 会期中無休。入場料 300円。

主催：明治大学博物館 後援：いわき市教育委員会、延岡市教育委員会

■リバティアカデミー特別展関連講座「藩領と江戸藩邸」

会場：明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区神田駿河台1-1)

開催日時：いずれも13時～14時半

① 10月25日(土) 講師：柳川古文書館学芸員 白石直樹

「絵文字の殿様—柳川藩5代藩主立花貞俣(さだよし)と江戸・柳川—」

② 11月8日(土) 講師：明治大学博物館学芸員 日比佳代子

「展示絵解—藩領と江戸藩邸—」

③ 11月22日(土) 講師：福島県歴史資料館 学芸員 小野孝太郎

「地域文化財の保全・活用について—福島県歴史資料館での活動を中心に—」

受講料：4,000円

申込：事前予約制、受講にはリバティアカデミーへの入会が必要です。

リバティアカデミー事務局 Tel 03-3296-4432 URL <http://academy.meiji.jp>

明治大学博物館特別展 「藩領と江戸藩邸～内藤家文書の描く磐城平、延岡、江戸～」 展示構成

1、江戸藩邸

大型絵図や江戸の切り絵図で内藤藩の虎之門屋敷、六本木屋敷、渋谷屋敷の様子を確認したら、江戸藩邸で過ごした藩主や武士達の生活を覗いてみましょう。

2、磐城平領

10メートルを越える「磐城七浜捕鯨絵巻 浜の巻」（いわき市蔵）が、磐城平領の海岸線とそこで暮らす人々の姿を圧倒的なスケールで描き出します。

3、延岡領

幕末の参勤交代制の揺らぎによって江戸と延岡を旅する事になった藩主内藤政孝の祖母充真院。充真院の旅の行程を、彼女が書き残した絵入旅日記と海上の図で紹介しします。

4、藩の終わりと文書

藩の終わりにより江戸藩邸、延岡城は、そして文書は、どうなってしまったのでしょうか。江戸から明治への移行期、藩邸・城・文書の行方を追います。

内藤家文書の描く
磐城平、延岡、江戸

藩邸 江戸 藩領

2014.10.11(土) → 12.11(木)
明治大学博物館特別展示室
開館時間 10:00～17:00 入館料 400円 主催 明治大学博物館
後援 いわき市教育委員会・延岡市教育委員会
Mm

明治大学博物館

藩邸 江戸 藩領

内藤家文書の描く
磐城平、延岡、江戸

開通イベント
※ライブパフォーマンス「藩邸と江戸藩邸」
博物館特別展開幕記念講演会「藩代大名とはなにか」
10月10日(金) 15:00～16:30 講師 福島大学 漢学専攻 三宅正浩
会場 駿河台キャンパス グローバルフロント1階 グローバルホール
※「延岡藩の歴史」—— 延岡藩5代藩主立花長頼(さだよし)と江戸・延岡——
11月8日(土) 13:00～14:30 講師 明治大学博物館学芸員 日比佐代子
※「藩の終わりと文書」—— 藩邸と江戸藩邸——
11月22日(土) 13:00～14:30 講師 福島県歴史資料館学芸員 小野孝太郎
※「藩城文化の継承・活用について」—— 福島県歴史資料館での活動を中心に——
会場 駿河台キャンパス 受講料 4,000円
申込方法 事前予約制 受講にはライブパフォーマンスへの入会が必要です
ライブパフォーマンス事務局 TEL: 03-3296-4423 URL <http://academy.meiji.jp>

江戸時代の「藩」は、お城のある国元だけではなく、江戸屋敷や大坂屋敷、飛び地などから成り立っていました。磐城平、延岡を所領とした七万石の譜代大名内藤家が残した内藤家文書をひもといて、藩領と江戸藩邸を基に広がる江戸時代の藩の姿を描きます。

I 江戸藩邸
大型絵図や江戸の切り絵図で内藤藩の虎ノ門屋敷、六本木屋敷、渋谷屋敷の様子を確認したら、江戸藩邸で過ごした藩主や武士達の生活を覗いてみましょう。

II 磐城平領
10メートルを超える「磐城七浜捕鯨絵巻 浜の巻」が、磐城平領の海岸線とそこで暮らす人々の姿を圧倒的なスケールで描き出します。

III 延岡領
幕末の参勤交代制の揺らぎによって江戸と延岡を旅する事になった藩主内藤政孝の祖母充真院。充真院の旅の行程を、彼女が書き残した絵入旅日記と海上の図で紹介しします。

IV 藩の終わりと文書
藩の終わりにより江戸藩邸、延岡城は、そして文書は、どうなってしまったのでしょうか。江戸から明治への移行期、藩邸・城・文書の行方を追います。

明治大学博物館
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
アクセス
JR有楽町線 神田駅 徒歩5分
地下鉄丸根線 丸根駅 徒歩5分
地下鉄有楽町線 神田駅 徒歩10分
TEL: 03-3296-4448